



東京産業保健総合支援センター研修案内(令和5年11月)

- ◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。
- ◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。
- ◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyosjohas.go.jp

◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

◆注意◆

令和2年10月開催分から「日医認定産業医研修」の受付方法を変更しております。

お1人様、月1回のみの受講となっておりますので、必ず当センターホームページに掲載してある【「日医認定産業医研修会」の受付方法の変更について】(令和5年5月31日から一部変更)をご覧ください、ご了承の上、お申し込みください。

先着順です。(抽選ではありません。)

日医認定産業医研修(令和5年10月開催分) 申込受付日時 早見表

申込受付日時		研修日時		研修テーマ	単位
10月3日(火)	10時～	11月1日(水)	14時～16時	小売業・飲食店における労働災害防止の進め方	専門2
	10時30分～	11月6日(月)	13時30分～16時30分	作業環境測定方法	実地3
	11時～	11月7日(火)	14時～16時	職場の感染症対策	専門2
10月4日(水)	10時～	11月8日(水)	14時～16時	過重労働による健康障害防止対策	専門2
	10時30分～	11月10日(金)	14時～16時	産業保健と法～産業医に関する裁判例～	専門2
	11時～	11月24日(金)	14時～16時	産業保健と法～安全衛生分野における監督指導の実務～	更新2
10月5日(木)	10時～	11月29日(水)	14時～16時	石綿関連疾患診断技術研修	専門2
	10時30分～	11月30日(木)	14時～16時	産業保健と労働基準法	専門2

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
11月1日(水) 14:00～16:00 申込受付日時 10月3日(火) 10時～	小売業・飲食店における労働災害防止の進め方 小売業、飲食店の労働災害は未だ増加傾向にあり、わが国の労働災害防止推進上の大きな課題です。 本研修では、小売業、飲食店の労働災害を防止するため、職場巡視等に役立つ業態別の労働災害の特徴、労働災害を防止させた企業の労働災害防止対策の具体的な取り組み好事例、さらには、これら業種で最も多発している転倒災害を防止するため、転倒災害の心理的・内的要因、転倒経験者インタビュー調査結果、転倒リスクに係る身体機能低下の計測方法例、転倒予防体操事例、運動器外傷データを用いた転倒データ分析結果などを紹介します。	労働安全衛生総合研究所 新技術安全研究グループ特任研究員 高木 元也	生涯・専門2	55
11月6日(月) 13:30～16:30 申込受付日時 10月3日(火) 10時30分～	作業環境測定方法 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	小嶋 純	生涯・実地3	16
11月7日(火) 14:00～16:00 申込受付日時 10月3日(火) 11時～	職場の感染症対策 産業医の業務として職場の感染症対策の重要性が増しています。これには季節性インフルエンザなど日常的に発生する感染症だけでなく、現在流行中の新型コロナウイルス感染症についても十分な対策を構築しておく必要があります。本研修では国内の職場や海外派遣労働者にリスクのある感染症対策の最新情報を解説します。	濱田 篤郎	生涯・専門2	55
11月8日(水) 14:00～16:00 申込受付日時 10月4日(水) 10時～	過重労働による健康障害防止対策 11月は「過労死等防止啓発月間」です。 この講座では、過重労働による健康障害防止対策について、過労死等防止対策について過労死等防止対策推進法第10条に基づき、過労死等に関する産業医の相談対応のスキルアップを図ります。	堤 明純	生涯・専門2	55
11月10日(金) 14:00～16:00 申込受付日時 10月4日(水) 10時30分～	産業保健と法～産業医に関する裁判例～ 産業医が訴えられた例、産業医が深く関与した例のうち主要なものを取り上げ、事案と裁判所の判断、得られる実務上の示唆を学びます。	青森中央学院大学 経営法学部教授 原 俊之	生涯・専門2	55

<p>11月24日(金) 14:00～16:00 申込受付日時 10月4日(水) 11時～</p>	<p>産業保健と法～安全衛生分野における監督指導の実務～ 近年の安全衛生法の改正や労働基準行政の動向を踏まえ、当局がいかなる事項を重点に監督指導を行っているか確認します。また、安全衛生法の全体像を概観した上で、監督指導の現場で、特に問題となりやすい同法の要求事項について実務的視点を交えながらポイントを説明します。</p>	<p>ニシワキ法律事務所 弁護士 西脇 巧</p>	<p>生涯・更新2</p>	<p>55</p>
<p>11月29日(水) 14:00～16:00 申込受付日時 10月5日(木) 10時～</p>	<p>石綿関連疾患診断技術研修 石綿関連疾患に関する診断・治療について未経験の医師を対象に、石綿に関する一般的知識、石綿ばく露歴の把握方法、石綿関連疾患の診断及び労災補償制度等について解説します。</p>	<p>岡山労災病院 腫瘍内科部長 藤本 伸一</p>	<p>生涯・専門2</p>	<p>55</p>
<p>11月30日(木) 14:00～16:00 申込受付日時 10月5日(木) 10時30分～</p>	<p>産業保健と労働基準法 産業保健と労働基準法という、労働基準法の長時間労働に関する規制が注目されますが、産業保健に関わる規程はそれだけではありません。そもそも、労働安全衛生法は労働基準法から分離独立したもので、労働安全衛生法の第一条においても「この法律(労働安全衛生法)は、労働基準法と相まって……労働者の安全と健康を確保する……」と謳っています。労働基準法で定める、労働時間、賃金、休日などの労働条件は労働者の安全と健康に密接に関係しています。また、労働基準法には女性や年少者の健康確保に関する規制も多く見られます。今回、産業保健と深くかかわる箇所を中心に労働基準法について解説したいと思います。</p>	<p>中山 篤</p>	<p>生涯・専門2</p>	<p>55</p>

◆産業保健研修◆ 産業看護職・衛生管理者・人事労務担当者等産業保健スタッフを対象とした研修です。

※単位等の取得はできません。

●産業保健研修の申込受付開始は、すべて10月2日(月)10時～です。

◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、
 <web研修> **お申し込みください**◆
 ◆講義の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆

研修日時	研修テーマ	講師	定員
11月13日(月) 14:00～16:00	【web研修会】レジリエンスについて 仕事上の挫折や生活上でのネガティブなライフイベントは、程度の差はあれ、すべての人に共通して起こり得る。特に現代社会においては、以前よりも多種多様な困難や不測の事態がより身近に存在する現状がある。ネガティブなライフイベントは避けることが出来ないが、ネガティブなライフイベントを経験してもそれを糧とし、しなやかに乗り越えていくことが必要となるのではないだろうか。EAPカウンセラーの経験から挫折・困難な状況からの回復力である「レジリエンス」について情報提供いたします。	レジリエ研究所 所長/(一社)国際EAP協会日本支部理事長 市川 佳居	70
11月21日(火) 14:00～16:00	【web研修会】「メンタルヘルス・マネジメント入門」～社員を円滑に専門家につなぐ方法～ 社員にメンタルヘルス不調が発生した場合、その社員が医療、もしくは産業保健スタッフに繋がるまでは、主に管理監督者もしくは人事労務担当者が関わることになります。そこで、社員を精神科に繋げるためには、精神科が必要だという根拠を示し、かつ精神科の受診を勧めるという勧奨スキルも重要となります。個人情報ややりとりにも、丁寧に「同意を取る」関わりが必要です。本研修では、社員を円滑に専門家につなげるための方法について解説を行います。	(株)ジャパンEAPシステムズ 臨床心理士 松本 桂樹	70
11月22日(水) 14:00～16:00	【web研修会】産業保健スタッフが知っておきたい職場におけるメンタルヘルス対策最新情報 第14次労働災害防止計画、ストレスチェック制度、職場のハラスメント対策、健康経営、新型コロナウイルスとメンタルヘルスなど、職場のメンタルヘルス対策に関する情報や活用できるツールなどの最新情報を幅広くご紹介いたします。	こころの耳運営事務局 青木 良美	70

<会場研修>

研修日時	研修テーマ	講師	定員
11月14日(火) 14:00～16:00	新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える 新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不適応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい困っている(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっているのか、コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」していくことを考えていきます。	廣川 進	55
11月15日(水) 14:00～16:00	第14次労働災害防止計画の概要と重点 新しい労働災害防止計画が、令和5年度からの5か年計画として始まります。労働災害防止計画は、労働安全衛生法に基づき厚生労働大臣が策定するものであり、国、事業者、労働者等の関係者が目指す目標や重点的に取り組むべき事項を定めています。重点事項として、安全衛生対策に取り組む企業が社会的に評価される環境整備、筋力等を維持するための運動プログラムの導入を含めた転倒災害・腰痛の防止対策の推進、高齢労働者の労働災害防止対策の推進、メンタルヘルス対策・過重労働対策・産業保健活動の推進、化学物質の自的的管理の推進などが定められています。この計画の概要と重点について解説します。	荒川 輝雄	55
11月16日(木) 14:00～16:00	メンタルヘルス不調の職場復帰支援～適応できなくなる特性を持つ2次障害の事例を踏まえて～ 休職の経緯として、きっかけはいろいろありますが、うつ症状等のためにお休みになる状態はほぼ共通しているでしょう。しかし、うつ症状の改善だけでは復帰が進まない、特性を持つ場合は、特に考えていかないといけない状況が見えてきます。いかがでしょうか。関わりには、職場や関係者の不調の理解を深めることは必須であり、見合う職場環境を考える、また、その人らしい働き方を見つける、背景を加味しながら支援する時でしょうか。求められる支援、まさにディセント・ワークをめざす職場復帰支援の流れを感じています。そんな事例をお伝えしながら、深める支援を考えていきたいと思えます。	労働者健康安全機構 産業保健アドバイザー 公認心理師 菅野 由喜子	55
11月17日(金) 14:00～16:00	ナッジでトライ！禁煙支援 筋金入りの喫煙者にどうアプローチしたらいいのか悩んでいるあなた！本研修会は、そんなあなたのための研修会です。世界の保健政策で活用されている「ナッジ理論」を禁煙支援に取り入れてみました。令和14年度には、喫煙率12%が国の目標です。この実現のためにもナッジを効かせた禁煙支援、学んでみませんか？ ◆注意◆ 現在、禁煙化されていない(屋内に喫煙室・喫煙コーナーあり)事業場の関係者を対象とします。	斎藤 照代	55

<p>11月27日(月) 14:00～16:00</p>	<p>働く人の健康づくりは日常生活の動作改善から ～「転倒防止」「腰痛・肩こり予防」～</p> <p>働く人の身体機能低下による「腰痛」「肩こり」の慢性化、「転倒」などの労働災害が増加しています。 この講習会では、関節などにふれながら骨、筋肉、関節を連動して動かす「骨ストレッチ」を紹介していきます。 骨ストレッチを行うと、日常生活の動作の筋肉への負担が減り、楽に動けるようになりますので「腰痛」「肩こり」などの予防になります。 また、骨・筋肉・関節が連動して動くので脚も上がりやすくなり、「転倒」災害の防止につながります。 実技を交えながらの講習会ですが、普段着で年齢に関係なく、誰でもその場で簡単に実施できます。 また、職場で無理なく展開できる方法について紹介しますので、この機会に体験していただき職場の健康づくりに役立てていただきたいと思います。 ◆重要◆体を動かしますので、水分補給のため、飲み物をご持参ください</p>	<p>スポーツケア整体研究所(株) 小沼 博子</p>	<p>29</p>
<p>11月28日(火) 14:00～16:00</p>	<p>職場で信頼される産業看護職になろう！ ～メンタルヘルス対策 1次予防から3次予防まで～</p> <p>産業看護職同士の意見交換の機会も設けながら、職場のメンタルヘルスに関する1次～3次予防対策を進めるために必要な視点や能力を整理します。 特に、本人・主治医・産業医・人事労務担当者・管理監督者等の関係者間の連携・調整スキルを高めましょう。 ◆注意◆ この研修に参加できるのは、「産業看護職(保健師・看護師)」のみです。 ◆お願い◆ テーマに関して産業看護職として日頃感じていらっしゃる「疑問・質問」をお寄せください。 参加申込後、当センターから「11月28日研修 疑問・質問依頼」メールをお送りいたしますので、そちらへご入力ください。</p>	<p>錦戸 典子</p>	<p>24</p>